

大津線における リサイクルの取り組み

▶ エコタイル

エコタイルとは、古タイヤなどの使用済みゴムを有効活用したタイルです。再々生も可能であり、環境や人にもやさしい製品です。現在、京阪石山駅、京阪膳所駅、浜大津駅、皇子山駅で使用しています。



エコタイル

「KUZUHA MALL」の 環境に配慮した取り組み

平成25年3月12日にリニューアルオープンした「KUZUHA MALL」の環境に配慮した取り組みについて、各方面から評価をいただいています。

省エネ性に優れるLEDによる機能性とデザイン性が融合した光環境が、優れた省エネ効果を達成しながらも魅力的な空間を創り出し、電力のピークカットにも貢献する省エネ・照明デザインを表彰する環境省「第5回 省エネ・照明デザインアワード」で、商業・宿泊施設部門の優秀事例に選定されました。

また、「南館ヒカリノモール」については、優れた外部環境の色彩を顕彰するために設けられた、公共の色彩を考える会による「第27回 公共の色彩賞－環境色彩10選－」に選ばれました。

今後も、環境との調和を考えた事業展開を行っていきます。



ハナノモール・ミドリノモール外観



ヒカリノモール外観

森林保護の取り組み

▶ 比叡山の間伐材利用促進事業

平成25年度から、比叡山内の所有地約50haを対象とした森林経営計画(5年間)について大津市の認定を受け、間伐材利用促進事業に取り組んでいます。資源の循環と二酸化炭素の固定による地球温暖化防止に貢献するとともに、保水・土砂流出の防止・防風といった多面的

機能が持続的に発揮されるよう緑豊かな森林を育てます。

また、平成26年度の二酸化炭素吸収量に関し、「滋賀県森林CO₂吸収量認証制度」の認証交付を受けました。



比叡山内社有地での伐採作業



CO₂吸収証書

私たちも環境活動に 取り組んでいます

Message

工務部保線課では、分岐器改良やロングレール化によりレール継目を減らすことで列車騒音振動の低減を図るとともに乗り心地向上にも努めています。平成26年度は樟葉駅構内の分岐器の一部を弾性ポイント化しました。これにより、列車通過時の継目音が低減され、かつ保守作業の省力化にも寄与しています。今後も積極的に環境活動への取り組みを行っていきます。



工務部 保線課
設計担当
築山 拓矢

電気部では、消費電力抑制と運転保安度向上のために、電球型からLED型信号機への更新を進めており、平成26年度で京阪線の約40%がLED型信号機になっています。

また、踏切道に設置している赤色せん光灯や列車進行方向指示器(矢印)は、京阪本線、交野線、宇治線すべての踏切道でLED型に更新し、電球交換による廃棄物の発生を減らすことができました。他には踏切道の警報音を周囲の環境に合わせた音量に調整することや、夜間や遮断桿が下降した際に音量を下げることで周辺への騒音の軽減にも努めています。

今後も環境にやさしい設計を心がけていきたいと思っています。



電気部 技術課
信通設計担当
岡崎 正和

車両部では、騒音・振動の低減として防音車輪を京阪線・大津線の全車に採用しているほか、車輪を周期削正し、乗心地向上に努めています。

また、フラット検出器(車輪踏面の損傷を検知)により損傷の程度を把握し、損傷車輪は旋削盤庫にて削正を行い、列車騒音振動の低減に努めています。

今後も低騒音機器の採用等、環境にやさしい車両を提供いたします。



車両部 車両課
台車係
中尾 雅春